令和初の
きき酒日本一
決定！

第39回 全国きき酒選手権大会レポート

個人の部は山形県・横山千広さん
団体の部は青森県・武田＆小山内ペア

みごと個人の部を制した横山千広さん

青森県の優勝は33年ぶり（小山内奈津美さんと武田真之介さん）

日本酒造組合中央会

全国各地のきき酒名人が日本一の座を掛けて自慢の腕を競い合う、「第39回全国きき酒選手権大会」が10月25日午後、東京港区の品川プリンスホテルで開催され、＜個人の部＞では山形県代表の横山千広さん、＜団体の部＞では武田真之介さんと小山内奈津美さんの青森県チームが、令和初のきき酒チャンピオンの座に輝きました。特別枠の「大学対抗の部」と「インターナショナルの部」も含めて熾烈な闘いが繰り広げられた1日をレポート。

37 都道府県の代表 73 名が参戦。「令和」にふさわしい爽やかな大会に

37 都道府県の代表 73 人（1 県 2 人、1 人欠場）が参戦した「第 39 回全国きき酒選手権大会」。開会に当たって挨拶した七田需要開発委員長は「日本一を目指して力いっぱい闘った後は、ラグビーワールドカップと同様ノーサイド。今日の出会いを機に友だちをたくさん作ってください」と、選手同士の交流こそきき酒競技本来の意義であることを強調。その言葉どおり、競技後の懇親会では、参加者全員が日本酒と料理を囲んで互いの健闘を讃え合うなど、ハーモニーを意味する令和の幕開けにふさわしい、爽やかな光景が繰り広げられました。

七田需要開発委員長

開会式冒頭、昨年団体優勝した宮城県チーム（今年の代表は左から、瀬戸・佐野ペア）が、七田委員長に優勝杯を返還。

「正々堂々きき酒することを誓います」昨年の団体準優勝チーム・愛知県の 2 人（左から、後藤・下村ペア）が選手宣誓。

審査委員長を務めたのは中央会の宇都宮理事。競技に先立って、きき酒方法や競技上の注意事項を説明。

「大学対抗の部」には、12 大学の 24 名が参加。

「インターナショナルの部」の参加者は 8 カ国 13 名。

本戦に先だって筆記試験に挑戦（20 分）。酒造りや原料に関する知識はもちろん、飲酒と健康、酒造文化まで幅広い設問に、「もっと勉強しとけば良かった」という選手も。

15 分の真剣勝負。「中央会の英文パンフで勉強した」という外国人も

筆記試験の後は、いよいよ本戦のスタート。競技方法は、特徴の異なる 7 種類の日本酒を 2 回きき酒して、好みの順位を合わせるマッチング法で、5 つの組に分かれて競技に臨んだ選手たちは、各組 15 分の制限時間をフルに使って真剣勝負を展開。競技を終えた参加者からは「緊張して香りの個性が掴みきれなかった」「県予選を通ったのはマグレだったと言われないよう頑張った」「一回目は自信あったけど、2 回目がどうも」（学生）「中央会の英文パンフレットで勉強してきた。楽しかった」（米国人参加者）など、様々な声が聞かれました。

「大学対抗の部」の模様。日本酒歴は浅くても、皆堂々の競技ぶり

「インターナショナルの部」は今回から着座式で実施。

プレイオフ参加者は 15 名。年々レベルアップする参加者の腕前

プレイオフの時間を利用して、宇都宮審査委員長がミニセミナー。テーマは「日本酒と料理のペアリングの基本的な考え方」

懇親パーティで表彰式。「勝因は夫との晩酌」（団体優勝の小山内さん）

個人優勝の横山さん（右から 3 人目）、団体優勝の武田・小山内ペア（左から 3 人目と 2 人目）を囲んで記念撮影。右端は全国農業協同組合連合会・米穀部の石澤原材料課長、その左が中央会の篠原会長。左端は日本酒マスコットのおちょこくん。

競技終了後には懇親パーティが開かれ、参加者全員が歓談のひと時。注目の成績発表＆表彰式では、中央会の篠原会長と全農の石澤原材料課長から、各部門の入賞者に賞状、記念品（日本酒と全農提供のお米券など）、優勝杯などが手渡され、会場から盛んな拍手が送られました。個人・団体の部を制した 3 氏は、「平成 17 年の大会で 4 位入賞したが、その証書を無くしてしまった。今回の優勝でやっと力を証明できる」（横山さん）、「青森県の優勝は久しぶりなのでとてもうれしい」（武田さん）、「勝因は、夫と毎晩日本酒を楽しんでいること」（小山内さん）と、それぞれ喜びを語っていました。

団体の部・第 3 位　香川県チームの西森夏樹さん（左）と、末友敏郎さん

団体の部・第 2 位　福島県チームの片岡一男さん（左）と橋本健一さん

個人の部・、準優勝は福島県の橋本さん、第3位は青森県武田さんが、それぞれダブル受賞

大学対抗の部　優勝は横浜国立大学大学チーム（中央の 2 人）、準優勝は筑波大学チーム（左の 2 人）、第 3 位は新潟大学チーム

インターナショナルの部　優勝は台湾のリー・ランさん（中央）、準優勝はカナダのマリエ・ソクさん（左）、第3位は中国のシュン・レイさん。女性パワーが圧倒しました。

闘い済んでノーサイド。～ 懇親パーティの風景 ～

日本酒造組合中央会・篠原会長の発声で、日本酒でカンパイ！

きき酒友だちの輪が広がる

全国各地の日本酒と

豪華な料理のペアリング

「腕を上げて来年も出たい」(ドイツ人参加者)

筆記試験全問正解の４人

「個人の部」
第４位～10位
入賞のみなさん